

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2021 年 5 月号

NO. 329

TOPICS

花々に励まされて

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 監事 金野 祥治

MESSAGE P4

「第 10 回通常総会」開催のご案内

ATTENTION P6

特別講演「これからのパブリックリレーションズ・プロフェッショナルに求められること」開催案内

ATTENTION P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー

5F 電話 (03) 5413-6760 ファックス (03) 5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F

電話 (06) 6344-3002 ファックス (06) 6344-3005

発行人: 畔柳 一典

5月号目次

5月～6月のスケジュール	-----	2
MESSAGE(メッセージ) 花々に励まされて	-----	4
ATTENTION(お知らせ) 「第10回通常総会」開催のご案内	-----	6
// 特別講演「これからのパブリックリレーションズ・プロフェッショナルに求められること」開催	-----	7
REPORT(講演レポート) 第212回定例研究会(正会員・個人会員限定)	-----	8
協会掲載記事 PRSJ in Media	-----	9

5月～6月スケジュール

【オンライン】広報・PR入門Web講座 2021	日 時 : 5月20日(水)～6月30日(水)予定 テーマ : 「イチ」から広報・PRの基本を学ぶ 新任者向け Web 講座
【オンライン】第213回定例研究会	日 時 : 5月26日(水)14:00～15:20 テーマ : 「人と人を結ぶニュース」は届いているか共同通信編集局の24時間～日本を代表する総合国際通信社の取材・編集活動を探る～ 講 師 : 一般社団法人 共同通信社 編集局次長 杉本 新氏
第10回通常総会	日 時 : 6月3日(木)15時～ 会 場 : 公益財団法人国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」 ※オンラインでの配信有
【オンライン】特別講演	日 時 : 6月3日(木)16時30分～ テーマ : 「「これからのパブリックリレーションズ・プロフェッショナルに求められること」 講 師 : 一橋大学大学院教授 阿久津聡氏

5月～6月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(5 月度)	日 時	: 5 月 13 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: オンライン開催	
	(6 月度)	日 時	: 6 月 10 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 未定	
教育委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 18 日 (火))	13:30～15:00
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 27 日 (木)	12:00～14:00
			: オンライン開催	
国際・交流委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 12 日 (水)	16:00～17:00
			: オンライン開催	
広報委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 27 日 (木)	16:00～17:00
			: オンライン開催	
顕彰委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 25 日 (火)	15:00～16:00
			: オンライン開催	
企業部会幹事会	(5 月度)	日 時	: 5 月 12 日 (水)	17:00～18:00
			: オンライン開催	
PR部会幹事会	(5 月度)	日 時	: 5 月 18 日 (火)	16:00～17:30
			: オンライン開催	

花々に励まされて

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

監事 金野 祥治

新型コロナウイルスの感染拡大は一向に収まる気配を見せないが、季節はいつものように巡り、いつの間にか花が咲き、窓の外を見れば一面の新緑が目にも美しい季節となっている。都内に通勤していた頃はあまり気に留めることもなかったが、昨年からは静岡県伊東で暮らすようになって今さらながら自然の豊かさに驚かされる毎日を送っている。単身赴任先のアパートから会社までは10分ほどの道のりだが、その間、家々の庭木や花壇の花々が目を楽しませてくれるので、飽きることはない。むしろ、ちょっとした変化に気が付くようになって毎朝わくわくしながら歩くようになった。もともと自然豊かで温暖な気候だからだろうか。多くの家々には季節の花があり良く手入れをされている。そして、必ずと言っていいほど、夏みかんや柚子といった柑橘が植えられているのが伊豆らしいところだ。冬の間は余り気が付かなかったが、桜だけでなく、梅やモクレン、ハナモモ、ツツジといった花木が多く植えられており、椿や梅の花を皮切りに様々な花が咲き競うさまは見事としか言いようがない。コロナ禍で花見は出来ないものと諦めていたのだが、何のことはない毎日花見をしているようなものだ。こうなると殺風景な一人暮らしの部屋の中にも何がしかの彩りが欲しくなるもの。幸い農協の直売所や朝市で切り花や花木が信じられないくらいの安さで手に入る。おかげさまで今年は室内でも花見を堪能することが出来た。そして、桜の花が終わるころ、家々の花の主演は草花に変わる。そうしたお気に入りの花見スポットの1軒に、玄関先の階段を利用してプランターや植木鉢を美しく並べている家がある。恐らく週末に作業をするのだろうか、月曜日になると新しいプランターが登場し、模様替えが行われる様は、まるで舞台の場面転換を見ているようだ。そして、春の花の鮮やかな色彩にはこちらの心までウキウキとさせてくれる力がある。仕事の方はコロナ禍の中、昨年より厳しい状況が続いているが、何とか折れずにやっていけるのも、こうした心なごませる花や木が身近にあるからかもしれない。

ところで、もう四半世紀以上前のことになるが、仕事の関係でロンドンに3年ほど暮らしたことがあった。英国人といえばガーデニング好きで有名だが、ロンドン近郊にはとても素人とは思えないほど手入れが行き届いた庭がそこかしこにあった。植物園や公園なども手入れが行き届いているのでそこに行っても良いのだが、個人邸の庭にはそれぞれの個性やこだわりが感じられ、いかにも英国といった雰囲気心地よく楽しかったことを覚えている。もちろん、他人の家を黙って覗いていた訳ではない。英国には大戦前からNGS(The National Garden Scheme)という取り組みがあって、個人邸の庭を数百円程度の入場料を取って一般に開放している。そして、その入場料はチャリティとして慈善事業に寄付されるのだ。このNGSというスキームに賛同した個人邸の庭を集めたガイドブックが通称イエローブックと言われる黄色い表紙の本である。ロンドン市内の本屋の店頭で平積みされるイエローブックは、春の訪れを告げる風物詩であると言ってもよいかもしれない。そんな当時のことを思い出しつつ、よく手入れをされた庭を見ながら、こんな取り組みが身近にあったら良いのにと考えていたら、灯台下暗し、何とこの伊東でも英国同様のスキームがあったのだ。伊東市の伊豆高原周辺を中心に100名ほどの会員が「伊豆ガーデニングクラブ」として20年以上前から活動し、今年も17カ所がオープンガーデンとして開放されている。また、一部の庭園では英国同様にオーナーとお茶を楽しみながら説明を受けることも可能なようだ。ただ、問題はこのオープンガーデンが市内に点在していること。とても徒歩では見て回

ることが出来ない。庭園めぐりの巡回バスでも運行していればと思って調べてみたら5月中旬からガーデニングクラブ会員によるガイドツアーが催行されることがわかった。毎年、ツアーバスは運行されているようだが、昨年は静岡県にも緊急事態宣言が発令されたこともありツアーが中止となったのでその存在に気が付かなかったのだ。こういった地域での様々な取り組みが地域を越えて多くの人に知られることは少ない。だが、実際には様々な人や企業、団体が素晴らしい取り組みを行っている。

ロンドンに住んでいた頃、日本は飛ぶ鳥を落とす勢いで、英国人から「我々はもう落ち目のさ。日本はすごいね」と言われて悦に入っていたが、そのうち、このNGSやOxfam、ビッグイシューなどの様々なチャリティ活動や弱者に対する暖かい眼差しを見るにつけ、日本は本当の意味で豊かなのかと考えさせられるようになった。そして、赴任当初とは打って変わって帰国する頃には、自分が老人になったり病気になったりしたら日本より英国の方が暮らしやすいかもしれないと真剣に思うようになった。幸い、その後の日本は企業活動の中でCSRやSDGsといった視点が不可欠のものとはなったが、社会全体にその精神が隅々まで行き渡っているかと問われれば甚だ疑問だと言わざるを得ない。

そうした中、我々が出来ることは、世の中の様々な活動に光を当てること、そして世に知らしめ、議論を深め、関心を高めること、まさにパブリックリレーションズではないだろうか。折しも、当協会でも昨年秋にPRSJ宣言が採択された。宣言の中でも「倫理観と信頼感に基づいた創造的な対話づくりの力で、人々の中に共感を生み出し世界を変えるソーシャルイノベーションに寄与していきます」と述べられている。今はまだコロナ禍の中、活動もままならないが、我々はコロナ後にコロナ前よりも本当の意味で豊かな世界を作ることが出来るだろうか。本当の試練は実はコロナ後に来るのかもしれない。

美しい花たちを見ながらそんなことを考えた今年のゴールデンウィークであった。

【正 会 員】

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 「第 10 回通常総会」開催のご案内

ネットでライブ中継を実施、「オンライン参加」が可能に

6 月 3 日(木)15 時から 六本木・国際文化会館

当協会は、来る 6 月 3 日(木)15 時から「第 10 回通常総会」を国際文化会館で開催いたします。本総会における議事としては、第 1 号議案「令和 2 年度事業報告承認の件」第 2 号議案「令和 2 年度収支決算報告並びに監査報告の件」の 2 つの決議事項と、2 つの報告事項「令和 3 年度事業計画について」、「令和 3 年度収支予算について」を予定しております。

令和 2 年度正会員の皆様には、5 月 20 日（予定）に、「通常総会招集通知」を送付いたしますのでご確認ください。同封されている「出欠届」を必ずご返送いただきたく、お願い申し上げます。E メールでの招集通知を同時に発出いたしますので、メールで返信いただくことも可能です。

なお、本通常総会の開催に際しましては、依然として収束しない新型コロナウイルスの感染状況に鑑み感染防止の観点から、昨年度同様にオンライン配信によるライブ中継を行うことといたします。会場にお越しいただくことなく総会の模様を視聴していただくことが可能となりますので、オンラインでのご参加をお勧めいたします。

オンライン参加を希望される方には、別途アクセス用の ID/パスワードをお知らせいたします。

また、オンライン参加の場合、システム上の理由から議決に参加することができないため、事前に議決権行使書の提出をお願いいたします。質問についても事前質問をお受けいたしますので、併せてご検討ください。

総会にご出席いただける正会員の皆様は、当日会場の受付におきまして、ご返信いただいた出欠届を基に作成した名簿との照合を行いますので、必ず出欠届の事前ご送付をお願いいたします。

当日ご出席いただけない場合、またはオンラインで参加の場合は、お手数ながら同封の参考書類をご検討のうえ、**令和 3 年 6 月 2 日(水)（必着）**までに議決権行使書のご提出をお願い申し上げます。

本通知は、すでに退会届または名義変更届を提出されている皆様にもお送りしていますが、これは「総会運営規則」第 4 条（議決権行使に関する基準日）「事業年度（令和 2 年度）の末日現在における議決権を有する正会員とする」により、令和 3 年 3 月 31 日現在の正会員各位にお送りしておりますのでご了承ください。お手数をおかけいたしますが、出欠届のご提出、オンライン参加またはご欠席の場合は必ず議決権行使書をご提出いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、懇親パーティは中止とさせていただきます。

日 時：令和 3 年 6 月 3 日（木）15：00～

場 所：公益財団法人国際文化会館 〒106 - 0032 東京都港区六本木 5 - 11 - 16

「岩崎小彌太記念ホール」(URL: <http://www.i-house.or.jp/>)

※ご不明な点がございましたら、協会事務局[問い合わせフォーム](#)までお問合せください。

また、当日は総会に引き続き 16 時 30 分から、一橋大学大学院教授 阿久津聡先生による特別講演「これからのパブリックリレーションズ・プロフェッショナルに求められること」を開催いたします。講演の模様はオンライン配信いたしますので、是非ご聴講ください。別途ご案内いたします。

特別講演 「これからのパブリックリレーションズ・プロフェッショナルに求められること」

6月3日(木)16時30分からオンラインで開催

来る2021年6月3日(木)16時30分から、同日開催される第10回通常総会に引き続き、一橋大学大学院教授 阿久津聡先生による特別講演「これからのパブリックリレーションズ・プロフェッショナルに求められること」をオンラインで開催します。特別講演は一般の方も含めて無料でご視聴いただけますので、ご関心のある方にもお声かけいただき、ぜひご参加いただけるよう、お願い申し上げます。

【開催概要】

- 開催日時： 2021年6月3日(木) 16:30～17:30(予定)
- 開催方法：オンライン配信
- テーマ：これからのパブリックリレーションズ・プロフェッショナルに求められること
- 講師：一橋大学大学院 教授 阿久津 聡氏
- 進行：PRSJ 副理事長／(株)井之上パブリックリレーションズ 代表取締役社長兼COO 鈴木孝徳氏
- スケジュール(予定)
 - 16:30～ 鈴木副理事長によるイントロダクション
 - 16:40～ 一橋大学阿久津教授による講演
 - 17:20～ 阿久津教授と鈴木副理事長による質問セッション
- 参加無料
- 参加資格
 - PRSJ 会員、会員所属企業の方
 - 非会員の広報・PR関係者
- 参加方法
 - 会員の皆さまには具体的な参加方法を後日、メールでお知らせします。
 - 同僚や関係する広報・PR関係者にもお声がけください。

正会員・個人会員限定**第212回定例研究会**

「日経 ESG」からみる SDGs 時代の経営と展望

**～2030 年に向けた最新動向と日本企業の取組み、
広報活動のポイントを考える～**

**講 師：日経BP 日経ESG編集長
田中太郎氏**

第 212 回定例研究会（3 月度）は、3 月 17 日（水）、オンラインで開催しました。講師は日経 BP 日経 ESG 編集長 田中太郎氏。テーマは「『日経 ESG』からみる SDGs 時代の経営と展望 ～2030 年に向けた最新動向と日本企業の取組み、広報活動のポイントを考える～」でした。

<講師略歴>

1990 年早稲田大学卒業、日経 BP 入社。「日経ビジネス」副編集長、「日経エコロジー」編集長などを経て 2018 年 4 月から現職。30 年間、経済記者一筋。最近は、企業が長期的な視点で経営基盤を強化するための情報の発信に力を入れている。

グリーン購入大賞審査員、エコマーク運営委員会委員などを務める。共著に『ビジネスを揺るがす 100 のリスク』『100 のブルーオーシャン』（日経 BP 社）ほか。

PRSJ in Media

● 5月1日（木） 『月刊広報会議』（宣伝会議）6月号

『月刊広報会議』6月号における当協会の連載コラムで、当協会が主催するPRプランナー資格認定検定試験の再開について記事掲載されました。

コラムでは、新型コロナウイルスの感染問題により2020年3月以降は中止していた試験方式を全面的に見直し、新たにCBT方式の導入により2021年2月27日～3月14日の期間で第29回1次試験実施したことを報じています。さらに、第29回1次試験の受験申込者が過去最多を更新、特に試験会場から離れた国内各地に居住する受験者が増えたことにも触れており、さらにCBT方式による今年度における第30回試験の実施予定を紹介しています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいとおもいますので、
よろしくお願い致します。

広報員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載